

備風

BI

FU

2017・3月

岡山県環境整備事業協同組合



VOL. 47

掲示板（事業活動）

岡山県青年部研修会

平成28年9月9日 岡山市 組合研修室

青年部研修会が「今日の労務管理」、「日本の法律背景と業界の今後」をテーマに行われ、多数の参加がありました。「今日の労務管理」の研修では、岡山県中小企業団体青年中央会の恵南副会長にもご参加いただき、社会保険労務士の穂田恒雄講師にご講演を賜りました。講演内容は「ソーシャルメディア利用管理規定」や「応募が増える求人の仕方」、「面接時確認事項」、「労働契約法に基づく無期転換権に関する第二種計画について」、「休業中の従業員への対応」等で、自らの体験談など、勉強になるお話を笑いを交えながら話して頂きました。時代に沿った新鮮な内容であり、知らない内容や聞きたい内容が盛りだくさんで、非常に勉強になりました。また、「日本の法律背景と業界の今後」の研修では、山下貴司衆議院議員にご講演を賜りました。まず、「山下議員の日々」について説明があり、業務は早朝から夜遅くまで、本当に忙しい日々であることがよく分かりました。講演内容は「浄化槽の保守点検回数に関する整理」、「浄化槽と関係業界が目指すべき将来像」、「国土強靱化、地方創生、成長戦略と浄化槽業界」、「合特法の経緯と概要」等でした。将来の業界のあるべき姿や目指す方向が良く分かる講演でした。質疑応答では、たっぷり時間を取っていただき、お互いに本音でお話する機会をいただき、とても有意義な時間となりました。牧青年部長がお礼の挨拶をし、閉会となりました。我々は浄化槽の適正な業務の遂行はもちろんのこと、労務管理における内部体制を整える重要性、地元行政と協働して地方創生をする大事な役割があることを再確認できました。



甲田光昭

第14回全国環境連全国大会

平成28年10月21日 松江市 ホテル一畑

第14回全国大会は「地域特性を生かした接続可能な循環共生型社会づくり」をメインテーマに、講演会、大会式典、懇親会が開催されました。

講演会は、まず、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長 瀬川恵子氏による「G7 富山環境大臣会合を受けたチャレンジ～循環共生型社会に向けて～」と題してのご講演をいただきました。講演中、鳥取県中部を震源とする震度6弱という地震が発生し、来場者全員の携帯電話の地震速報が鳴り響くとともに、会場ホテルも大きく揺れ騒然とする場面があり、一時はどうなることかと心配されましたが、参加者の皆さんの冷静な行動と、被害等の発生も無かったことから、その後も予定どおり講演を続けることができました。奇しくも「地震に強い浄化槽」のお話をさせていただいておりました。

続いての講演は、公益財団法人しまね文化振興財団 理事長／松江歴史館・館長 藤岡大拙氏による「出雲の魅力 ～豊かな自然と歴史文化～」と題しての神話の国「出雲」の歴史、魅力について、ご講演をいただきました。

大会式典では、鳥越会長の挨拶、優良役員、優良従業員の表彰、「大会スローガン」の採択、「大会宣言」と滞りなく式典が進行し、その後、大会懇親会が開催されました。

懇親会では、「一字川耕土ご一行による安来節」及び「谷住郷神楽社中による石見神楽」のアトラクションもあり、次回開催地である福岡県での再会を約し、盛会裏に閉会を迎えました。

なお、今回の地震により被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

竹内久博



第13回全国環境連青年部研修会

平成28年11月25日 福岡市 八仙閣

全国から多数の青年部員が集まり、第13回全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会青年部研修会が行われました。

初めに藤井隆全国青年部長より主催者挨拶があり、安徳博福岡県環境整備事業協同組合連合会会長より来賓の挨拶を頂戴しました。

研修会は2部で構成されており、1部では、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課浄化槽推進室長 吉川圭子氏を講師としてお招きしました。「浄化槽の国際展開について」と題した講演では「国連持続可能な開発目標」、「アジアの水環境の現状」、「浄化槽の国際展開の現状と推進策」、「アジア各国の概況」、「欧州のオンサイト汚水処理システム」等の説明があり、浄化槽の海外展開におけるアジアや欧州各国の進捗状況や、普及・促進上の課題等の説明がありました。

2部では、AMDAグループ代表 菅波茂氏による「被災地のニーズと地域連携」について、菅波氏が世界各国の被災地で支援活動を行って感じたことや、被災地では公衆衛生上の問題や生活用水の確保が最も重要であるという、興味深い内容でした。

これから起こりうる南海トラフ地震では、岡山県も含め多県にわたり甚大な被害が想定されています。廃棄物処理に携わる者としては、災害が起きたときに何をしていたらいいのかわからないのかを考えさせられる有意義な講演でした。

研修会終了後、会場を移動し、吉川氏、菅波氏をお招きして懇親会が行われ、全国の各県青年部員らと席を囲み意見交換や親睦を深め、盛会裏に終了しました。

藤村正太郎



岡山県環境整備事業協同組合及び環整連政治連盟岡山県支部合同新年会

平成29年2月3日 ANA クラウンプラザホテル岡山

合同新年会が組合員及び各団体関係者70名の参加のもと、八田勉常務理事の司会進行により開催されました。開会にあたり乗藤慎吾理事長より、八田富夫前理事長の藍綬褒章受章の報告と、近年の業界をとり巻く環境が厳しい状況の中にあっても組合員同士が協力し、行政との協働を強化し事業の推進をしていきたいとの挨拶がありました。

ご来賓の(一社)岡山県浄化槽団体協議会の八田富夫会長より藍綬褒章受章のお礼とご祝辞をいただき、岡山県では浄化槽台帳がすでにできているが、全国ではまだまだ進んでいないので、浄化槽の信頼性を高めるためにも協力して推進に努めることが大切との挨拶がありました。

次に、別府洋吾専務理事より平成29年度行事予定についての報告があり、組合通常総会が5月30日に、中国地区協議会通常総会が6月23日に山口市で、全国環境連全国大会が10月27日に福岡市で開催されるとの報告があり、最後に10月10日、11日に岡山市で開催される第31回全国浄化槽技術研究集会への参加と協力をお願いがありました。

続いて、乾杯のご発声を岡山県健康づくり財団大森弘介専務理事から賜り、開宴後、親睦を深めました。

最後に、牧生夫副理事長が閉会の挨拶を行い、盛会のうちに閉会しました。

西本 渡



行事予定

平成29年 3月3日	全国環境連情報・広報委員会 (東京)
3月6日	全国環境連総務委員会 (東京)
3月7日	全国環境連政策・法務委員会 (東京)
3月9日	全国環境連研修・教育委員会 (東京)
3月15日	全国環境連第6回理事会 (東京)
3月21日	全国環境連中国地区協議会第6回理事会 (岡山市)
3月27日	組合第6回理事会・常任会 (組合事務所)
3月28日	全国環境連事務局長会議 (東京)
5月10日	組合第1回理事会・常任会 (組合事務所)
5月19日	全国環境連第1回理事会 (東京)
5月30日	組合通常総会 (岡山市)
6月5日	全国環境連中国地区協議会第1回理事会 (岡山市)
6月14日	全国環境連通常総会 (東京)
6月23日	全国環境連中国地区協議会通常総会・第2回理事会 (山口市)
7月19日	全国環境連第2回理事会 (東京)
7月26日	組合第2回理事会・常任会 (組合事務所)
8月2日	全国環境連中国地区協議会第3回理事会 (岡山市)

シリーズ第44回 水とくらし

石原 慎祐

現在の日本では、水道水は飲めることが当たり前となっています。しかし、世界を見ると「飲める水道水」というのは非常に限られています。

水道水が飲める国は一般的には大体15カ国程度といわれています。このことから、世界では「水は買うもの」が当たり前となっています。

近年では、航空業界の競争が激化し、国内で旅行するよりも安い海外旅行が多く存在し、海外旅行はとて身近なものになりました。一方で、それと同時に海外で食事をした場合

にお腹を下すというトラブルが増加していることも事実です。「水道水を飲んでいないのにどうしてだろう？」と疑問に感じるかもしれません。しかし、水道水は調理であれば材料を洗う際にも使用するし、食器等もその水を使用して洗っています。このことを考えれば私達は無意識の内に水道水を摂取しているといえます。

さらに水には種類があります。それは「軟水」と「硬水」です。水1000ml中に溶けているカルシウムとマグネシウムの量を表わした数値を「硬度」といい、硬度が120mg/l以下を「軟水」、120mg/l以上を「硬水」といいます。

日本で生成されている水は一般的には軟水であるため、旅行先などで硬水を摂取した場合、特に胃の弱い人はお腹を下してしまうことがあります。

楽しい海外旅行を過ごすためにも「日本の常識＝海外の非常識」という意識は常に持ち、「安全で、安心な飲み水」を確保するためには、それなりの対価が必要であるということを知っておいてください。

活 動 報 告

28. 9. 9	青年部研修会 (組合研修室)	11. 25	第13回全国環境連青年部研修会 (福岡市)
9. 13	全国環境連第3回理事会・臨時総会 (島根県松江市)	11. 30	全国環境連第4回理事会 (熊本市)
9. 27	組合理事会・常任会 (組合会議室)	12. 6	全国環境連中国地区協議会第4回理事会 (岡山市)
9. 24	事業部水質保全管理担当者会議 (組合会議室)	12. 7	全国環境連情報・広報委員会 (東京)
9. 28	全国環境連業務推進委員会 (東京)	12. 12	事業部西日本高速道路(株)中国支社 (広島市)
10. 3	第31回「浄化槽の日」(東京)	12. 13	組合理事会・常任会 (組合会議室)
10. 12	浄化槽保守点検・清掃委員会 (組合会議室)	12. 26	全国環境連年末あいさつ (東京)
10. 14	岡山市協「50年の歩み統編出版記念式典」(岡山市内)	29. 1. 5	新年あいさつ (岡山県知事、岡山市長)
10. 17	第30回全国浄化槽技術研究集会 (東京)	1. 6	新年あいさつ (倉敷市長)
10. 18	(公財)日本環境整備教育センター創立50周年記念式典(東京)	1. 18	全国環境連第5回理事会・新春懇談会 (東京)
10. 20	全国環境連臨時理事会 (島根県松江市)	1. 25	全国環境中国地区協議会第5回理事会 (岡山市)
10. 21	全国環境連第14回全国大会 (島根県松江市)	1. 30	浄化槽保守点検・清掃委員会及び適正業務指導委員会 (組合会議室)
10. 27	事業部高速道路労働安全講習会実施 (倉敷市)	2. 3	組合理事会・常任会・新年会 (岡山市)
11. 6	児島湖流域清掃大作戦	2. 7	全国環境連中国地区協議会青年部研修会 (岡山市)
11. 11	自由民主党岡山県議団へ浄化槽関係の要望書提出	2. 13	岡山県合併処理浄化槽普及促進協議会研修会(岡山市)
11. 11	民主党岡山県連へ浄化槽関係要望書を提出	2. 14	全国環境連業務推進委員会 (東京)
11. 18	全国環境連「政府に対する要望書」の提出 (東京)	2. 19	八田富夫氏藍綬褒章受章記念祝賀会 (岡山市)
11. 16. 17	岡山県貯水槽清掃作業従事者研修会(組合研修室)		

編集後記

先日、当組合の第5代理事長を務められました平井 覚氏をご逝去されました。平井氏が理事長を務められた昭和62年から平成12年の期間は、組合を取り巻く環境が、大きく変化した時代でありました。見事な舵取りで組合運営をなされたと思います。ご冥福をお祈りいたします。



BIFU

Vol.47

発行日	平成29年 3月25日
発行	岡山県環境整備事業協同組合
編集	機関紙担当理事 別府 洋吾
住所	岡山市南区山田291-2
tell/fax	086-282-6455/086-282-6685
E-mail	okakan01@poem.ocn.ne.jp
印刷	(有)エーピープランニング